

# 中村じゅんや 議員だより

連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉 junya\_shizunaka@office.tnc.ne.jp

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉 <http://www.junya-susono.club/>



## 目に見える市政が進むと良いですね！

平成30年度がスタートしました。市役所人事も発表され、得意分野に戻った方もいらっしゃるれば、初めて担当する職場となった方もいらっしゃると思います。年度当初は各種手続きで来庁者も多い中、各課の窓口では職員の引継のためあって、いつもよりごちゃごちゃしている感じがしています。目に見える活動として、市役所のレイアウト変更もロビーを皮切りに進んでおりますが、3階（広報や総務、企画、財政、人事）も異動と併せて整理したようで、すっきりしていました。卓上の山積み書類も消えました。次は2階（建設、産業、教育）でしょうか。昨年度の不祥事の中には、書類の整理整頓が原因だったものもあります。今さらですが、仕事場の整理整頓は、仕事の質にも影響します。ぜひ市役所訪問の際には、用事が無くとも各階を通り抜けてくださいませ。それ自体が監視にもなります。私たちの暮らしを第一に考え働くのが市役所ですから！

## 3月定例会の内容から、気になるものをご紹介します

### ★★本年度のこと★★

#### ■約1千万円のふるさと納税の活用先は（例） ア)放送設備の更新（東西公民館、東コミセン）

「教育文化生涯学習の充実」目的の寄付70万円を利用し、マイクやアンプなど機器を新しくします。生涯学習充実にコミセンの設備も含まれます。ぜひ区毎ではなく地区単位での活用方法を相談し活用してはいかがでしょうか？地域の憩いの場の充実のために。



#### イ)中央公園駐車場拡大（五竜の滝）

はとバスやクワタームのバス立寄りが増加。WC利用が目的のようですが、路上駐車では危険で迷惑。「観光産業の充実」目的の寄付152万円を活用しバス3台、乗用車10台分に拡張。転回やすれ違い方法も検討すればよいのに。他に場所はないのですかね？観光・客寄せ施設等に活用させて頂きたいなあ。



#### ウ)南児童館空調設備の更新

「福祉健康施策の充実」目的の寄付100万円を利用し、停止中の物と併せ2基を新しくします。

※平成29年のふるさと納税は約1千万円。今年度は2千万円の見込み。他市町への流出予想額は5千万円で税額では赤字。寄付で裾野を知った方にどうアプローチし来て頂くか。その部分が力を入れるべき所。山形県天童市は28年度に約20万2千件から約33億円寄付されました。将棋ゲームもありますが、市のサイトを見ると、予定する使い道もしっかり明記されており、多くの方が用途を明確に指定しています。返礼品目的の方も多いですが、裾野を応援してもらうには、応援したくなる工夫も必要。また、ついででもよいので民間観光施設から裾野市内に流れ込むような仕組みに活用することも、一つだと思います。裾野市民はまだふるさと納税に消極的のようですがこれからは分かりませんよ～。

### ★★平成30年度の事業は。。。★★

#### ■岩波キッチンを市内経営者有志が運営

産業間の連携を強め、裾野の事業者を増やし経営を強化できるよう支援する産業連携プラットフォーム事業。昨年10月から力を入れている市内経営者有志が一般社団法人を設立し運営するとの事。15百万円の予算。2年間は国が半分補助してくれますが、それまでに自立し、かつ成果を出せるか。家賃と人件費を引くと事業費は720万円。どんどん寂しくなる市の農林商工業を何とか盛り上げて欲しいものです。私としては裾野駅より、岩波駅周辺や支所など集落拠点周辺を優先させて欲しいなあ。

#### ■富岡コミセンリニューアル

先日深良コミセンがリニューアルオープンしましたが、今度は富岡が対象です。平成32年度工事・完成を目指し、設計作業に入ります。今の不便さを解消し、更に使い易くするため、今の内に意見をお寄せ下さいませ。



#### ■育児関連事業（保育環境拡充&高校生医療費）

前号掲載の高校生医療費助成の予算は29百万円。県の事業としても準備しており10月から実施予定とか。県からの予想補助額は今年度は230万円の見込み。高校生をもつ親御さんは喜んでいらっしゃいますが、無料化や減免はどこかにしわ寄せしていることを忘れてはなりません。あれもこれもは望めないで、将来何を残したいか、何を残すことが現代の役目か、という視点での井戸端会議していくことも必要ですね。

また御宿台保育園の指定管理導入で保育士配置を8人増員でき、年度途中での待機児童ゼロや育児休業に伴う退園制度を廃止できる見込みとなりました。子育ても、またその為の生計維持も安心できるよう努めていくとの事。家庭でのふれあいの時間はもっと大切にしましょうね！



■一般質問 今回のテーマは、「すでにあるものを効果的に活用しよう」です。

裾野市では「あるもの磨き」というフレーズが使われています。何もないわけではなく、気づかず、活かしていないだけという事だそうです。何かしらの理由で埋もれていたものを掘り起し、それを契機に盛り上げるのも良いかもしれませんが、認識しているものですら活かさないようでは、その手法に期待すらできません。そこで、活かし方について①気持ちが中途半端な会議、②ヘルシーパークの無料バス、③活躍が見えない副市長 について必要性和活用方法を確認してみました。

①参画者がスッキリしない会議を見直そう。

みらい会議などワークショップ手法が多く取り入れられ各世代の市民が参加してくれているが、言い放しの会議の為、モヤモヤしているらしく、参加意欲を減少させている。意見の集約、対策の方向性、グループでの合意などある程度詰めた結果を出せる様に、やり方を振り返り、改善すべきではないか

A. 出された意見を各計画にどう反映したかは返すようにしているが、制約のある会議の見直しはしていない。多くの方に参画頂けるよう、工夫していきたい。

「市民の声を反映」と言いつつ、短い時間で言いたい事も言えない参加者。対策にこそ参加したいと思う方が多い。時間を制約しているのも行政都合、丸1日十分市民が議論しあい、合意策まで出せるような会議でも良いのでは？参加したい！と思ってもらえる内容にすべきだと思います。



②副市長の役割、使命を明確にしよう。

市長も2期目となり大よそ庁内は統制できるようになったにも拘らず、財政状況も厳しい中、なぜ副市長が二人も必要なのか？

A. 厳しい財政状況の改革こそ2期目の市長の役割だと考えている。これまでのサービスを低廉させたり、中止したりという厳しい判断もしなければならない場合がある。その取捨選択、丁寧な説明、民間活力や市民協働による補完・前進など迅速かつ効果的、効率的に進めるためにも副市長2人体制を継続し、厳しい状況を乗り切るよう取り組ませたい。

③ヘルシーパークの経営安定を

赤字経営打破のため、事業者は送迎バス廃止したが、市が直営でバス運行を継続し、今年度は義務付けた。



Q.利用状況と私の印象。

- 2往復半のバス最終便は利用者が極少である。
- バス利用者の入場料だけではバス運行経費にも満たず、更に赤字が膨らんでしまう。
- 東、西地区の利用者ですでに満席で、途中乗車がほぼできない地区もあり、不公平感がある。

※ヘルシーパークに停留所を設けた路線バスを通す事に税金を投入した方が、多用途で利用でき、更に元々の乗車率も確保できるため、収益性、利便性、公平性にも応えられるのではないかと。

無料バスを止め公共交通でカバーすべきでは？

A. 公共交通は拠点間を何かしらの手段で繋いで行くという点で検討している。運転手不足もあるため路線バスでここを繋ぐことは考えていなが、利便性を考慮し拠点の一つであるこの場をどう生かすかは全体の中で検討する。現在の所長年の実績から根強い要望もあり、送迎バスを即廃止というわけにはいかないと考えている。

Q. 沸かしているプールだが、人気の温泉を引き込み水着着用の混浴温泉や温泉療法が可能な場所として近隣との差別化に取り組んではどうか？

(燃料費減、家族利用者増狙い)

A. 現設備は泉質に耐えうる状況になく、実施には全て交換するなど大規模な改修を要するため、温泉の引き込みは難しい。



各種活動のご紹介

●議員活動報告

沼津市の樞議員と共に、意見交換となるふれあいトークを開催。ららぼーとや、ラライブの話をする沼津と、ワクワク感に差がある市政報告でしたが、議員活動そのものに大きな差はなく新鮮に意見も拝聴できました！



●会派視察（沖縄陸自、防衛局）オスプレイやら飛行体落下物など基地周辺問題とその対応と実態を確認しようと会派で視察。

確かに課題は多くありますが、関係する皆さんで取り組んでいる姿が印象的。情報も現場原点ですね。

●玉城町デマンド福祉バス 富岡地区区長会視察に随行。交通弱者を自分たちで支え合う仕組みを確認。千福が丘の取り組みと比較していきたいと思います。



「市議会だより」の編集委員も担当していますが、次号は、読みやすさを求めて刷新する予定です。ご感想をお寄せくださいませ。また議会報告会を5月26日に市役所で開催します。ぜひお越しくださいませ。